

# 大島史跡案内図

自然を大切に

マナーを守って美しく



記号	史跡名		記号	史跡名	
1	八幡神社	貞観元年（西暦 859 年）創立 現在の本殿は元禄 5 年壬申 8 月 11 日（西暦 1692 年）建立	15	帆立	信号所 西条藩主が帰国される時、讃岐の岬を越えられると垣生ともだて、御代島に信号を送った。
2	大元神社	欽明天皇時代（西暦 500 年代）創立 現在の建物は鎌倉時代の物と言われ建立年月日は不明 現在新居浜市文化財に指定されている。	16	船くぼ	むかしの造船所跡
3	比沙門天	創立不詳 七福神をまつてある。西側に上野若狭守の墓がある。昔の領主の墓とも言われている。	17	本丸跡	トンコツ峠
4	吉祥寺	真言宗 安永 9 年（西暦 1780 年）創立 本尊比沙門天弘法大師像 薬師堂 本尊薬師如来	18	武者洗跡	
5	願行寺	浄土宗 天正元年（西暦 1573 年）創立 本尊阿弥陀如来（阿弥陀三尊） 伝説として幽霊の片袖あり。	19	城の鼻	ざんごう跡あり
6	地藏堂	本尊百体地藏菩薩（木食如心作） 延享 2 年（西暦 1745 年）大島に渡る。	20	観音堂	
7	御番所跡	江戸時代初期に設けられた。	21	二の丸跡	
8	住吉神社	創建奈良時代 現在八幡神社境内五社に合祀されている。	22	水軍団跡	大島で一番古い城があったと言われる。
9	幟立	平安時代から江戸時代における信号所	23	比丘尼磯 (オヤナ跡)	脇屋義助の侍女が尼となりこの磯の上で平和を祈り、敵、味方の霊を弔ったと言われる。又、明治の初めオヤナという人が身を投げてからオヤナ磯といわれるようになったと言う。
10	トンコロ場	江戸時代コレラ（トンコロ病）等はやり病で亡くなった人の土葬場	24	ばくちの木群生	市指定天然記念物 幼木の時はい皮をつけているが成長するにつれて、うろこのように一枚一枚はげ、木の幹が赤くなる。丁度ばくちをして負け、一枚一枚着物を脱いで裸になる意味を表している。大島では赤木と呼ばれている。
11	船かくし	水軍船つなぎ場（監視船）			
12	明火	奈良時代から昔の灯台替わりとして火がたかかれていた			
13	皇子山	護良親王の仮宮 護良親王が忽那島に行かれるまで守護した。			
14	神田山	河野通有が文永・弘安の役に大勝し、その御礼として鍔やかぶと、太刀と共に神田山を神社に献上した。			